

2025 年度 工芸科 学部入試 出題意図

一次試験 鉛筆写生

モチーフの印象を素直にとらえて描くことを基本として、モチーフを取り巻く空間を表現できる構図の選び方や、石膏像とモチーフ台との関係に着目し、形態感や量感を捉える描写力と共に各モチーフの質感や固有色を観察し描写できる表現力を求めています。

二次試験 平面表現

与えられたモチーフと任意の色面を効果的に使い、独自性のある色彩表現を求めています。また自然物と工業製品を描き分ける描写力、用途性のある「鏡」を活かす柔軟な思考による発想力、複数ある要素をまとめ上げる構成力を有しているか総合的に審査します。

二次試験 立体表現

自然物であるモチーフの観察をもとに、如何に自分なりのプランを立体造形物へと表現できるかを問う問題です。モチーフの持つ構造、量感、張り、手ざわり等の、らしさを感じ取る感性、それらを粘土で表現する造形力、柔軟な発想による展開力、作品全体をまとめる構成力を審査の要点とします。